



台風による農業用ハウスの被害防止対策について

近年、地球温暖化の影響によって全国各地で台風や大雪等の自然災害が多発しており、パイプハウスを始めとする農業用施設にも大きな被害が発生しています。特に、令和元年には、台風第15号、台風第19号による大規模災害が連続して発生し、本県の農業用ハウスに甚大な被害が発生しました。

このような状況を踏まえ、茨城県では「茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル」(令和4年8月改定、詳細は <https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nougi/kenfu/housemanual.html> を参照)を作成しました。つきましては、下記の点を参考に、台風による被害防止対策を徹底して下さい。



台風(強風)が予想される場合の対策のポイント

- 天気予報等により、積極的に気象情報を収集する。
- 事前の準備をしっかりと行う。

【台風接近前】

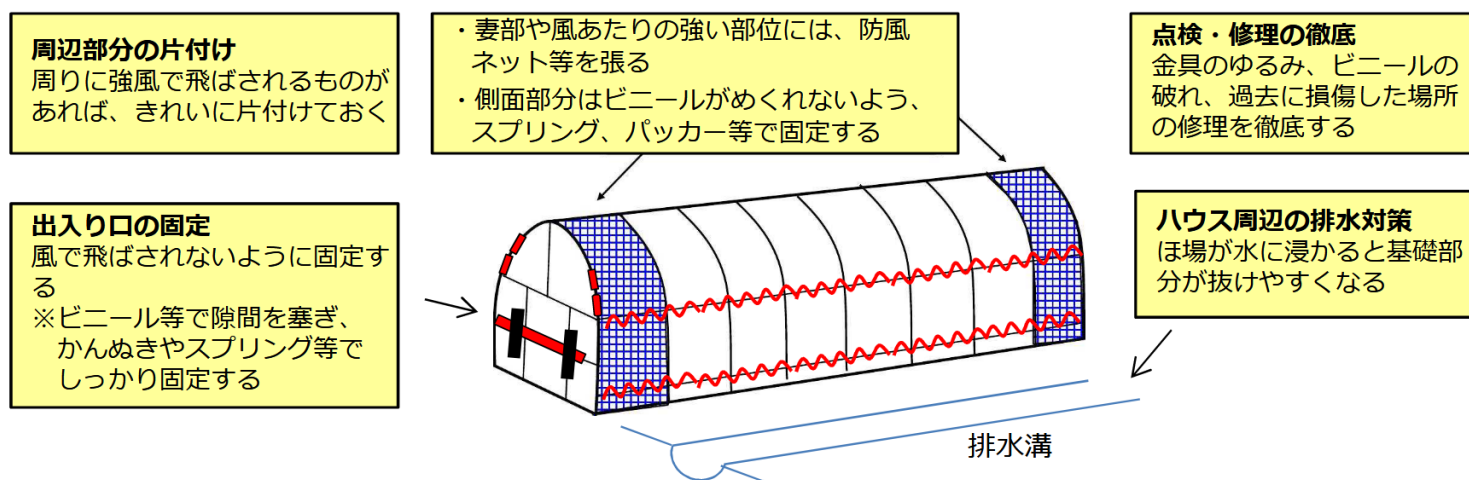
※別紙「台風が襲来する1日～2日前までに行っておく項目」チェックシートを参照し、事前対策(ハウス周囲の片づけ、強風への備え、周辺の施設・機械の点検、潮風害への備えなど)を行う。

【台風襲来直前】

※別紙「台風が襲来する直前に行う対策」チェックシートを参照し、事前対策(戸締りなどの直前対策)を行う。

- 台風の進行方向の東側は、特に、強風に注意する。
- 台風通過中は、人命優先のため作業は絶対に行わないこと。**
- 台風通過後は早急に施設を見回り、作物の生育回復のため、潮風害対策、草勢回復、病害予防等の当面の対策を徹底する。

<参考> 台風接近に備えたパイプハウスの対策事例



台風が襲来する1日～2日前までに行っておく項目

項目	チェック欄	チェック項目(点検ポイント)	備考(留意点等)
1		ハウス・温室の周辺は、片付いているか? ●飛ばされる恐れがあるものは、施設周辺に置かない	小石、木片等の飛来で、ガラスや被覆材が破損する。ハウス周辺のもの、しっかりと固定したり、片付けておく。
2		出入口の戸締りは行っているか? 出入口の戸串、レールのはずれや傷みはないか? 風が吹き込むことが予想される	強風に建具があおられ破損する。出入口等が破損すると風が吹き込み、被害が大きくなる。 風の吹き込みにより、被覆材の剥離、飛散

台風が襲来する直前に行う対策

項目	チェック欄	チェック項目(点検ポイント)	備考(留意点等)
17	直前対策	出入口等、施錠できるところは、しっかり戸締りしてあるか? 天窓、サイド換気部はしっかりしまっているか? ハウスの周辺は片付いているか?	隙間からの風の吹き込みにより、被覆材が剥離、飛散したり、施設の浮き上がりにより、ハウスが破断・倒壊する場合がある。
18		換気扇のあるハウスは、換気扇を積極的にまわして、フィルムを引き付けておく(吸入口は閉じておく)。	換気扇をまわして、ハウス内部を負圧にすることにより、強風時に被覆材がバタつくのを防ぐことができる。

茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル参照

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nougi/kenfu/housemanual.html>

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。